

入野駅周辺の整備は

国道56号改良工事後に



なかじま いちろう 議員
中島 一郎

完成後に、国道沿いにまちづくりの計画ができるよう、町全体の中で考えている。

りとなっている。

新たに民間大手メーカーからの参入により、アルファ化米、飲料水、そして缶詰のセットの防災商品等の提案ができたので、この営業強化を図っていく。

問 事業目的の一つとして、町内の雇用促進の位置づけがされているが、現況は社員5人、パート13人、合計18人となっている。

作業効率や生産性の向上を目指すのであれば、パート雇用の方を長期雇用へと転換して、安定した雇用体系を図るべきではないか。

答 大西町長

総論を言えば指摘のとおりだ。ただ、個人の生活が多様化しており、実際に就労しているパートの方からも、短期労働を希望される方もいる。

継続雇用のためには、働く方の希望に沿うことも大切であるため、会社としては理想の雇用形態を目指しつつ、働



黒潮町缶詰製作所(上)と缶詰セット

産業振興

缶詰製作所の 運営は

商品開発で 営業強化を

問 本格的な運営から2年が経過したが、第3期決算書の内容を、どのように受け止めているか。また平成28年度の売上目標達成は可能な数値となっているか。

答 大西町長

第3期決算については、相当地な販売努力を必要とする。

今期の売上目標額は、7170万円に対して、5850万円の売り上げが見込まれており、年間目標の約80%止ま

問 当初の計画では、地域外から人を呼び込み、交流人口の拡大や地域経済の活性化を目指してきたが、これからは人口減少や超高齢化社会を予想して、暮らしやすく安心して日常生活が送れる町(商店街など)のあり方について、時間をかけて検討するべきではないか。

答 金子まちづくり課長

入野駅前広場事業は、整備計画を見直し、中止をした。今後は、国道56号改良工事

問 専門的知識や商品開発、販売ツールなどを活かして、町内事業者への波及効果が期待されているが、この取り組みはしているか。

答 大西町長

商品開発には、多様な業務と完成に至るまでには20工程を踏みながら、商品のデザ

き続ける場としての経営改善を図っている。

ン化、衛生、商品管理など専門性を非常に有することが多くある。この業務過程を基に、今後は町内事業者へノウハウの還元や専門知識の提供に努める。

【その他の質問】
※坂折団地の住環境の整備について
※佐賀診療所の医療体制について